

青森市地域福祉計画推進事業 平成 28 年度取組状況について

1 青森市地域福祉計画の概要

(1) 青森市地域福祉計画策定の趣旨等

人口減少・少子高齢化が進展する中であっても、地域住民が共に支え合い、助け合いながら、市民誰もが住み慣れた地域において安心して安全に暮らすことができる地域福祉社会の実現を目指すため、平成 28 年 3 月に策定

(2) 計画期間

平成 28 年度～平成 32 年度（5 年間）

(3) 基本理念

地域において人と人とがつながり、支え合い、共に生きるまち

(4) 重点事業

- ①地域共助ネットワークの構築
- ②地区カルテの整備
- ③ボランティアポイント制度・地域福祉サポーター登録制度の創設
- ④地域支え合い推進員（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）の配置
- ⑤ボランティアセンターの運営強化

2 地区カルテの整備について

(1) 地区カルテ（初回版）の作成

- ・地区カルテは、地域福祉に関する情報をまとめ、地域での社会福祉活動の際に、情報を活用してサービスや支援につなげていくため、地域ごとに作成するもの。
- ・平成 28 年度は、地区社協の会長・理事等へ、地区カルテ作成の趣旨を説明し、その後地区において開催していただいた座談会に、市職員及び市社協職員が出向き情報を収集した。

《座談会開催状況》

・開催期間：平成 28 年 5 月 26 日～9 月 4 日

・開催地区：35 地区（全 38 地区）

※残り 3 地区については、地区の事情により未開催（当該地区カルテは、作成時点の情報のみで作成済み）

《作成した地区カルテの配布》

・平成 29 年 3 月 24 日付けで、各地区社協会長・事務局宛に送付

(2) 地区カルテ様式等について

①カルテの構成

- ・地域の概況（地域図、面積等）
 - ・地域の基礎情報（高齢化率、障がい者手帳交付数、児童手当受給家庭数等）
 - ・地域福祉の担い手の情報（地区社協を構成する団体、地域包括支援センター、福祉活動を行うボランティア等）
 - ・地域での支え合い活動の状況（地域が行っている活動）
 - ・地域の課題（困っていること、コーディネート方針等）
- 〔地区カルテの様式は別添（サンプル）のとおり〕

②各地区の数値の比較（抜粋）については、別添「地区の概況」のとおり

(3) 地区カルテの活用・更新方法について

①活用方法例

- ・地域の困り事について話し合う「地域の支え合い会議」に、地域支え合い推進員が参加
- ・地域支え合い推進員が、当該地区の地域資源や他地区の事例を参考に題解決方針をコーディネート

②更新方法

- ・行政が把握する基礎データを更新する際、それまで各地区から集められた追加情報を盛り込み作成する。（年1度を想定）

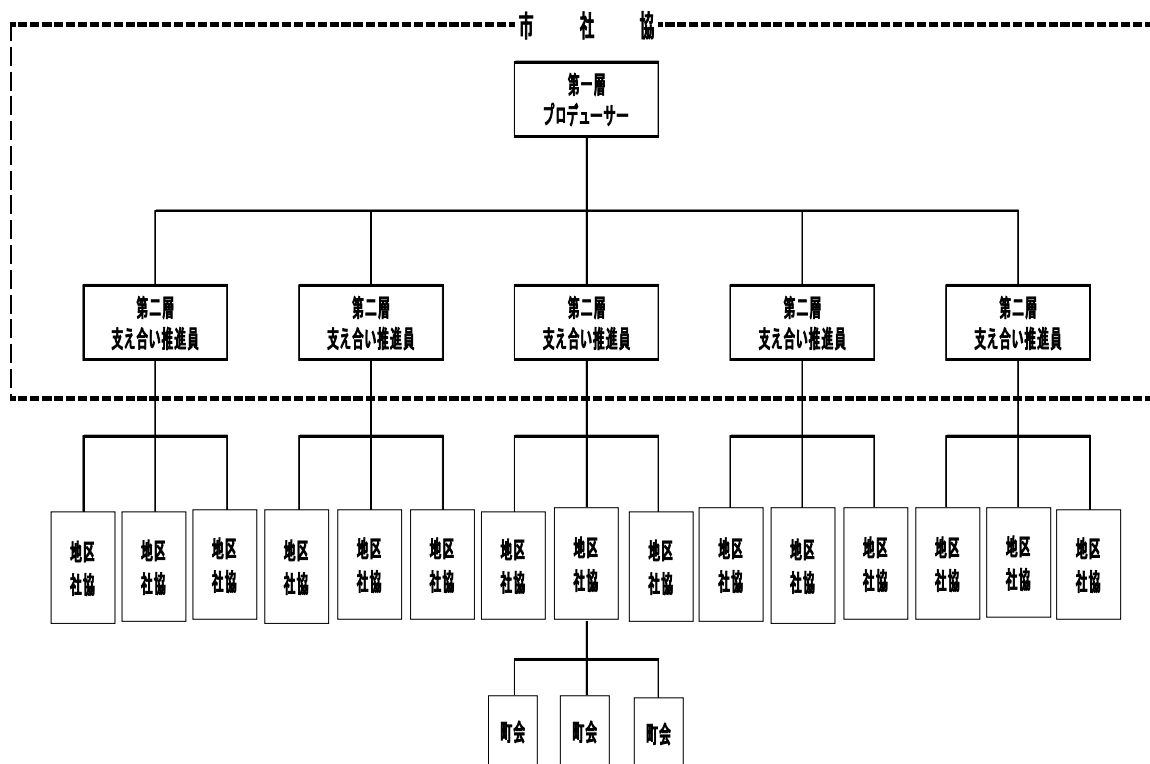
3 地域支え合い推進員の配置について(平成29年5月22日現在)

(1) 配置状況

- ・第一層プロデューサー … 1名配置(予定1名中)
- ・第二層支え合い推進員 … 4名配置(予定5名中)

※下記、「地域支え合い推進員の配置イメージ図」参照

地域支え合い推進員の配置イメージ図



(2) 主な活動状況

- ・各地区の事業や会議等への参加回数は、平成29年1月～3月で20回(別紙「地域支え合い推進員活動表」参照)